

第6回千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議 専門部会 概要

1 日時 令和2年6月23日(火) 18:00~20:00

2 場所 千葉県庁本庁舎5階 特別会議室

3 委員(敬称略・外部委員につき五十音順)

猪狩 英俊	千葉大学医学部附属病院 感染制御部長
入江 康文	公益社団法人千葉県医師会 会長
亀田 信介	一般社団法人日本病院会千葉県支部 支部長
神山 潤	東京ベイ・浦安市川医療センター 管理者
小森 功夫	松戸市立総合医療センター 副院長
角南 勝介	成田赤十字病院 病院長
寺口 恵子	公益社団法人千葉県看護協会 会長
中村 朗	総合病院国保旭中央病院 化学療法科 院長補佐
西牟田 敏之	公益社団法人千葉県医師会 公衆衛生担当理事
馳 亮太	成田赤十字病院 感染症科部長
宮崎 勝	国際医療福祉大学成田病院 病院長
山本 修一	千葉大学 副学長
石川 秀一郎	千葉県衛生研究所 所長
野田 秀平	千葉県保健所長会 理事
山崎 晋一朗	千葉県病院局長

4 関係機関等

大塚 正毅	千葉市保健所長
安田 佑也	千葉市保健福祉局医療衛生部 医療政策課
筒井 勝	船橋市保健所 所長
戸来 小太郎	柏市保健所 保健予防課 課長
広木 修一	柏市保健所 保健予防課 専門監
松本 尚	千葉県災害医療コーディネーター

亀田 義人	千葉大学医学部附属病院 特任講師
吉村 健佑	千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター センター長
佐藤 大介	千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター 特任准教授

5 県側出席者

加瀬 博夫	健康福祉部長
渡辺 真俊	保健医療担当部長
中村 勝浩	健康福祉部 次長
石出 広	健康福祉部 次長
久保 秀一	健康危機対策監
井上 容子	健康福祉政策課長
舘岡 聰	疾病対策課長
田村 圭	医療整備課長

6 議題に係る主な意見等

○新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定方針（案）について

- ・重点医療機関の指定方針のうち、施設要件では病棟単位で病床確保をすることとされているが、ICUについても病棟単位とするのは難しいと考える。
- ・受入れ患者（疑い患者）に関する要件について、疑似症の発生届がされている者に限る点については、単なる疑いであると、冬季などでは発熱患者は全部疑いとなる。そうすると、重点医療機関で全てこうした患者を受け入れなければならない。そうした点で、この要件は適切かと思われる。
- ・患者の受入れ方針について、フェーズ1及び2では、原則として重点医療機関での受入れを基本としているが、重点医療機関となるような医療機関はコロナ患者以外にも扱っていることが多いと思われる。そうすると、フェーズ1から重点医療機関だけでコロナの患者を受け入れるとなると、コロナではない重症患者の行き場がなくなるという懸念もある。
- ・小児病棟については、仮に一病棟を空けても、そこに多くの小児の患者が入るとは想像できない。病棟単位で病床を確保するという要件について、柔軟に考えてもらえると助かる。
- ・重点医療機関の指定は、令和2年4月以降の日で、県が認めた日とされているが、4月より前にしてもらえるとありがたい。3月にコロナ患者を受け入れた医療機関もあると思われる。
- ・第1波の時は、やる気のある医療機関が損をしたような形になっていた。そういう所に補償することが、次の波に向けて大切ではないか。
- ・指定要件の「その他」のうち、クラスター発生時やホテル療養への医師、看護師の派遣の協力については、県として補償の条件を整理してもらえると派遣しやすいと考えられる。

○新型コロナウイルス感染症疑い患者受入れ協力医療機関の指定方針（案）について

- ・受入れ患者に関する要件では、疑似症の届出がされている者に限るとされているが、実際に疑似症の届出をするケースは現場では少ない。届出に関する運用を考えていく必要がある。